

# どうなる? どうする? 「教室不足」

～学び合おう! 語り合おう! 緊急学習会～

埼玉県の特設支援学校で学ぶ子どもたちは、2007年度の4671人から2012年度は6153人と、この5年間で1482人増加しています。これまで県は、高等養護学校2校、高校内分校3校、南部・西部・北部に各1校の知的障害の特設支援学校を設置し、今年度は蓮田特設支援学校に肢体不自由部門を設置していますが、児童・生徒増には追いつかず、不足教室は昨年度の282教室から310教室と大幅に増加しています。特別教室を普通教室に転用したり、北側の教材室や倉庫まで教室として使用しているなど、一刻の猶予も許されない深刻な実態となっています。しかし、埼玉県は2013年度の草加かがやき特設支援学校の開校をもって、「教室不足対策事業を終了する」として、今後の対策は不明のままです。すべての障害児に豊かな教育を保障するためには「教室不足」を抜本的に解消することが喫緊の課題です。そのために私たちは何をしたらいいのか、保護者や教職員のみならずと一緒に学び、考えていきたいと思えます。

(※参加費は無料です。また、保育希望の方は事前に下記連絡先までご連絡ください。)



日時: 3月3日(日) 10:00~12:00

場所: 埼玉教育会館 104会議室

※浦和駅西口から徒歩10分。お車で越しの際は県庁駐車場(有料)等をご利用ください。

「教室不足」を考える親と教職員の会

連絡先: 埼玉県高等学校教職員組合 障害児教育部  
(牧野まで) 電話 048(822)7421

